

「国語」・「数学」・「理科」の力 と 学習の様子

～『R7 全国学力・学習状況調査』結果から～

今年度は、国語、数学、理科の調査が行われました。どの教科にも、学校での授業の工夫や家庭での学習支援の効果が表れています。

◎は良いところ ▲は伸ばしたいところ

★国語について

①「学習指導要領の6内容における結果から」

◎「話すこと・聞くこと」「書くこと」に関する問題が特によくできていました。



②『特に正答率の高かった問題』

◎ちなみに「会場図」を加えた目的として適切なものを選択する問題や、聞き手の反応を見て発した言葉について、そのように発言した理由として適切なものを選択する問題は、全ての生徒が正解でした。スピーチやグループでの話し合い活動などで、言葉の選択や資料の使い方など聞き手に分かりやすく伝えるための工夫について、意識しながら取り組んでいることの成果がよく表れています。

③『課題として』

▲文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる問題で課題が見られました。授業中に漢字のミニテストを行う際には、同音異義語や同訓異字などについて正しく使い分けができるような指導をしていきます。また、覚えたことをアウトプットする機会を増やし、知識の定着を図っていきます。

★数学について

①「学習指導要領の4領域における結果から」

◎「数と式」「図形」「関数」の領域で力がついています。特に、「図形」の領域の問題がよくできていました。



②『特に正答率の高かった問題』

◎多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる問題や、事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる問題は、全ての生徒が正解でした。また、証明の問題は、どれも高い正答率でした。「図形」の領域では、知識・理解がよく身に付いており、日頃から問題を解決する過程を大切にしながら思考・判断・表現している成果がよく表れています。

③『課題として』

▲「数と式」の領域では、課題がいくつか見られました。1から9までの数の中から素数を全て選ぶ問題や、果汁40%の飲み物 a mLに含まれる果汁の量を a を用いた式で表す問題では、誤答が多く見られました。

「図形」だけでなく、「数と式」の領域の学習についても、数学的な用語の意味を確実に理解し、数学的な表現を用いて自分の考えを説明する力を身に付けていくことが課題です。今後は、「数と式」の領域においても、数学的な用語を確認しながら、思考・判断・表現することを一層大切にしていきます。

★理科について

①「学習指導要領の4領域における結果から」

◎「エネルギー」や「粒子」を柱とする領域で力がついています。特に、「粒子」を柱とする領域の問題がよくできていました。

②『特に正答率の高かった問題』

◎プロパンガス、都市ガス、空気の密度の大小を判断し、小さい順に並べる問題や、「理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのかな？」という疑問を解決するための課題を記述する問題は、特に高い正解率でした。「粒子」を柱とする領域では、知識・理解がよく身に付いており、日頃から問題を解決する過程を大切にしながら思考・判断・表現している成果がよく表れています。

③『課題として』

▲「生命」や「地球」を柱とする領域では、課題が見られました。れき、砂、泥の層の性質から水が染み出る場所を判断し、その場所を選択する問題や、微生物が活動している動画を見て、呼吸を行う生物を全て選択する問題では、誤答が多く見られました。

「生命」や「地球」を柱とする領域の学習については、既習内容を日常の事象に置き換えて考える活動や既習内容から新たな問題を見出し、それを科学的根拠をもって探究する活動を一層大切にしていきます。

★学習や生活について ◇よい傾向 ◆心配な傾向



《家庭や地域に関すること》

- ◇「朝食を毎日食べていますか」の質問では、ほとんどの生徒が「食べている」と回答しています。
- ◆「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の質問では、数名の生徒が「あまりしていない」と回答しており、やや心配です。

《学校に関すること》



- ◇「1・2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」の質問では、全ての生徒が「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答しています。
- ◇「1・2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」の質問では、ほとんどの生徒が「ほぼ毎日」と回答しており、授業におけるICT機器の活用が進んでいます。
- ◇「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」の質問では、全ての生徒が「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答しています。

《自分自身に関すること》



- ◇「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問では、全ての生徒が、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答しています。
- ◇「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問では、全ての生徒が、「当てはまる」と回答しています。
- ◇「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の質問では、ほとんどの生徒が「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答しています。学校では、担任はもちろん、副担任や養護教諭、スクールカウンセラーなど、生徒が相談しやすいと思った先生にいつでも相談できるような教育相談体制を今後も整えていきます。また、全ての教職員の目で生徒の様子を温かく見守り、生徒の悩みや困りごとに対して、受容的・共感的に話をきくことを続けていきます。

学力面との関係で分析すると、



- ◇毎日同じ時刻に起きている。
- ◇自分には、よいところがあると思っている。
- ◇人の役に立つ人間になりたいと思っている。

左のように回答した生徒は、
正答率が高くなっています。

- ◆「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問では、約半数の生徒が「1時間より少ない」と答えており、全国・福井県の結果よりも低くなっています。学校では、将来に向けての見通しを生徒に持たせながら、家庭での時間の使い方について振り返り、生徒が主体的に家庭学習に取り組むことができるよう支援していきます。